



学校だより

かりがね

富士市立岩松中学校

令和6年10月31日

学校教育目標 「いつでも自分から動く子」「わたしもあなたも大事にする子」「学びを楽しみ、表現する子」「つながりながら成長する子」

後期始業式を行いました

今日はみなさんに「経験を重ねる」という話をします。どの学年の人も、後期は初めて経験することがたくさんあります。3年生は、受験という未知のものにチャレンジします。2年生は、3年生が築いてきた生徒会や部活動など、すなわち「岩中の伝統」を引き継ぎ、高めていくことにチャレンジします。1年生は、中学校で初めての運動会にチャレンジします。誰も、初めて経験することは不安でいっぱいです。

しかし、色々なことを学び、チャレンジと失敗、成功を繰り返し、自身の経験値を上げていって欲しいと思っています。みなさんは、ゲームは好きですか。ゲームをやって最初のうちは、失敗ばかりでなかなか先に進まず、イライラすることがたびたびあります。しかし、繰り返しチャレンジしていくうちに、コツを見つけたり攻略方法を手に入れたりして、ステージをクリアしていくことができます。クリアしたときの喜びは大きく、人に自慢したくなります。そして、さらに次のステージのクリアを目指して頑張りました。

一度クリアした面は、2回目なんか「あっ」という間に突破することができます。それは、攻略方法を必死につかみ取った経験があるからです。「経験を重ねる」ということは、人を成長させるということです。人の生き方は、ゲームのようにはいきません。もう嫌だとリセットボタンを押すこともできません。しかし、小さくても、そして些細なことでも、何かに自らチャレンジした経験は、みなさんを成長させます。なかには経験せずに済んだ方がよいこともあります。友達と気持ちが通じず喧嘩になったり、病気にかかってしまったりするなど、経験したくないものもあります。

そんな「望まない経験」に対しても、逃げずに乗り越えてほしいと思います。たくさんの経験をした人は、他の人の喜びや苦しみを理解できるようになります。友達に寄り添って支えることが、できるようになるからです。もし望まない経験で苦しいと感じたら、勇気を出して誰かに話してください。「話しても無駄だ」と思わずに、話すまでは諦めないでください。一人で考えることには限界がありますが、みんなで乗り越えられることもきっとあります。次にはきっとクリアできるはずです。

後期は、様々なチャレンジをすることで経験を重ね、さらなる成長を遂げることを望んでいます。「がんばれ岩中生！」みなさんにエールを送り、式辞とします。

～後期始業式の校長式辞より抜粋～

実りの秋から蓄えの冬へ

大きな行事が一つずつ終わっていきます。9月27日（金）に行われた合唱発表会では、夏休み前から練習し積み重ねてきた音楽を全身で表現し、聴いている人々の胸を何度も熱くさせました。また、練習の中でこだわってきた各クラスの合唱が、よく通る美しい歌声で体育館を大きく響かせました。約2か月の取組は、一人一人、そして各学級に今まで以上の大きな成長や成果を実感として得ることができたように思いました。また、今月23日（水）に行われた「運動会」においても、個人の「成長」、学級での「繋がり」が競技の中で感じ取ることができたのではないのでしょうか。さらに、1年生から3年生の縦集団による「色別応援」は、例年以上に練習時間が限られている中にもかかわらず、「練習効率」を考えた3年生の計画・実行力の高さを身近で見ることができました。

季節の変わり目で、体調を崩している人もちらほら見られる中ではありましたが、来月には11月テストも予定されています。頑張って勉強したことがどのように自己の成果として出たのかにも注目できると良いと思います。もちろん、反省点をきちんと分析して次に生かして前進できる部分に目を向けてほしいと思います。実りある日々にしていきたいと願い、生徒とともに努力していききたいと思います。

後期の抱負

僕が、後期に力を入れていきたいことを三つお話します。

一つ目は学習です。僕は、前期ではテスト二週間前には全教科のワークを終わらせておくことを意識して取り組んでいました。しかし、苦手な教科は二週間前に取り組んでも覚えきれないことがありました。

そこで後期ではテスト一か月前から勉強を始めるということを意識していきます。二年生の後期は、「受験生」に向けての大切な準備期間です。これまで以上に学習に力を入れ、自分の力を伸ばしていきたいです。

二つ目は部活動です。僕は、夏休みからサッカー部の新部長となり、チームは「徹底」というスローガンのもと、強くなるために練習してきました。しかし、新人戦ではリーグ戦を突破した後のトーナメントで、吉原北中に四対二で負けてしまいました。自分が点を取れずに負けてしまったことがとても悔しかったです。今、この悔しい思いを絶対に晴らすという気持ちで、熱を入れて練習しています。次の大会では、全試合で自分が点を取ってチームを勝たせることができるように、仲間と全力で練習しています。

三つ目は生徒会活動です。僕は、後期生徒会長を務めさせていただくことになりました。僕は、この岩松中学校を、全員で作りに上げていく学校にしたいと考えています。そのために、今よりももっと、生徒会と生徒との関りを増やし、生徒一人一人の意見が反映されるようにしていきたいです。そこで、定期的にアンケートを取って意見を伝えやすい環境を作ったり、生徒総会では全校生徒で話し合う場を作ったり、みんなの意見で作りに上げる行事を実現させたりしていきたいと思っています。

最後に、一年生のみなさん、中学校生活も半年が経ちましたね。ここからは、僕たち二年生と一緒に、学校を作っていきます。

二年生のみなさん、後期は生徒会や専門委員会が二年生主体となり、二年生が学校を動かしていくことが多くなります。僕たちが岩松中学校の中心とならなければなりません。その自覚を持ち、一緒に頑張りましょう。

三年生のみなさん、三年生の先輩方が中心となって作り上げてくださった素晴らしい学校にできるよう頑張ります。今後とも協力をお願い致します。

先生方、僕たちは、ここから後期の半年間より良い岩松中学校を作っていけるよう、みんなで力を合わせていきます。どうか、僕たちを見守り、支えていただけたらと思います。

全校生徒のみなで、雁魂を持って後期を生活していきましょう。

生徒代表

生徒会がバトンタッチ

本部役員		専門委員長	
生徒会長		学年委員	
副会長		生活委員	
副会長		学習委員	
副会長		環境委員	
副会長		給食委員	
書記		図書委員	
書記		放送委員	
書記		保健委員	
書記		選挙管理	
書記			

いよいよ後期生徒会の活動がスタートしました。生徒会活動は、自分たちの学校をよりよくするために、生徒が自ら考え、自ら行動する活動です。もちろん、生徒だけではなく、教員が陰日なたになってサポートしていきます。岩松中のよき伝統を引き継いでいってくれることを期待しています。



「雁魂」と色別縦割り集団の6つのスローガンによる応援旗